

平成 25 年度化学系学協会東北大会

報告書



- 会 期 2013 年 9 月 28 日(土)～30 日(月)
- 会 場 東北大学川内北キャンパス(仙台市青葉区川内 41)
川内萩ホール(仙台市青葉区川内 40)
- 主 催 日本化学会東北支部
- 共 催 高分子学会東北支部
日本分析化学会東北支部
化学工学会東北支部
有機合成化学協会東北支部
電気化学会東北支部
日本材料学会東北支部
繊維学会東北北海道支部
無機マテリアル学会北部支部
東北大学大学院理学研究科
東北大学原子分子材料科学高等研究機構(AIMR)
- 協 賛 仙台観光コンベンション協会
インテリジェント・コスモス学術振興財団
コニカミノルタ科学技術振興財団
附置研究所間アライアンスによるナノとマクロをつなぐ物質・
デバイス・システム創製戦略プロジェクト
物質・デバイス領域共同研究拠点

International Symposium for the 70th Anniversary of the Tohoku Branch of the Chemical Society of Japan

Date

28th—30th
(Sat) (Mon)
September, 2013

Venue

Kawauchi-Kita Campus, Tohoku University
Sendai, Japan

Special Lectures

Prof. Kohei Tamao

President of the Chemical Society of Japan
Science Advisor of IRODI
Emeritus Professor of Kyoto University

Prof. Ada E. Yonath

Nobel Laureate in Chemistry in 2009
Structural Biology Department,
Weizmann Institute of Science

Prof. Yuan T. Lee

Nobel Laureate in Chemistry in 1986
President Emeritus, Academia Sinica

Prof. Daisuke Uemura

Research Institute of Natural
Drug-Leads, Kanagawa University

Prof. Supawan Tantayanon

Department of Chemistry, Faculty of
Science, Chulalongkorn University
President of the Federation of Asian
Chemical Societies

Prof. Junji Kido

Department of Organic Device Engineering,
Graduate School of Science and Engineering,
Yamagata University

Registration Fee

Early Bird Registration: 8,000 yen
-School teachers: 2,000 yen
-Graduate students: 3,000 yen
-High school students and
undergraduate students: Free
(Dependent on school)

On-site Registration: 7,000 yen
-School teachers: 2,000 yen
-Graduate students: 3,000 yen
-High school students and
undergraduate students: Free
(Dependent on school)

Important Dates

May 17, 2013
Deadline for Presentation Application
August 2, 2013
Deadline for Abstract Submission
August 16, 2013
Deadline for Online Registration

Banquet

September 29, 2013 6:30PM
Venue: Kawauchi-no-Mori Dining

Participation Fee
Early Bird Registration: 6,000 yen (4,000 yen for students)
On-site Registration: 7,000 yen (5,000 yen for students)

Organized by

Tohoku Branch of the Chemical Society of Japan

Co-organized by

Tohoku Branch, The Society of Polymer Science, Japan (SPSJ)
The Japan Society for Analytical Chemistry, Tohoku Branch
Tohoku Branch, The Society of Chemical Engineers, Japan
Tohoku Branch of the Society of Synthetic Organic Chemistry, Japan
Tohoku Branch of the Electrochemical Society of Japan

Tohoku Branch of the Society of Materials Science, Japan (JMSM-Tohoku)
Tohoku-Hokkaido Branch, The Society of Fiber Science and Technology, Japan
Naruhisa Chapter, The Society of Inorganic Materials, Japan
Advanced Institute for Materials Research (AIMR), Tohoku University
Graduate School of Science, Tohoku University

Contact
US



Tohoku Branch of
the Chemical Society
of Japan

Department of Chemistry, Graduate School of Science, Tohoku University,
6-3 Aza-Aoba, Aramaki, Aoba-ku, Sendai 980-8578, Japan
TEL: +81-22-254-0883 Mail: rtkido@tohoku.ac.jp/chemistry.or.jp
URL: <http://tohoku.ac/chemistry.or.jp/symposium2013>

日本化学会東北支部長

山下正廣(東北大院理・教授)

日本化学会東北支部副支部長・化学教育部門長

猿渡英之(宮城教育大・教授)

日本化学会東北支部副支部長・東北大会実行委員長 正田晋一郎(東北大院工・教授)

1. はじめに	4
2. 大会概要報告	5
3. 懇親会	14
4. 受賞式	15
5. 閉会式	18
6. おわりに	19

1. はじめに

平成 25 年度化学系学協会東北大会が、平成 25 年 9 月 28 日(土)～30 日(月)の 3 日間にわたり、東北大学川内北キャンパスで開催された。今年度は、日本化学会東北支部設立 70 周年を記念して、国際会議を併せたかたちで開催された。本年は台風の当たり年であったが、幸いに天候にも恵まれ、心地よい初秋の日々であった。ノーベル化学賞受賞者であるヨナス教授と李教授による萩ホールでの特別講演に、高校生はじめ一般市民を含め多くの聴衆の参加があった。また、国内外から第一線で活躍中の研究者を招待し、東北 6 県の大学・教育関係者を中心に、活発な討論が行われた。発表件数は、特別講演 6 件をはじめとして、13 のセッションにおける国内外からの招待講演・依頼講演 114 件、ポスター発表 715 件であり、総参加者数は 1,360 名にのぼり、非常に盛況であった。懇親会で鳴り響いた勇壮な太鼓の音は、復興に向けて、東北の化学ならびに化学教育の、より元気で明るい未来を象徴するものであった。

1.1 運営と本大会の特色

大会運営と本大会の特色を以下に述べる。

1) 会期の変更

平成 22 年度の岩手大会から会期は 2 日間であったが、本年度は国際会議を併せた開催となったことにより、会期を 3 日間とした。

2) 一般講演における口頭発表の変更

環境化学セッションのみ一般口頭発表を受け付けた。

1.2 特別講演、招待・依頼講演ならびにポスター発表

特別講演は全部で 6 講演が行われた。目玉となったのは、2 日目に萩ホールで行われた 2009 年ノーベル化学賞を受賞した Ada E. Yonath ワイツマン科学研究所教授の「From Basic Science to Advanced Medicine」、1986 年にノーベル化学賞を受賞した、李遠哲台湾中央研究院名誉院長の「My Experiences as a Chemist in the Changing World」である。萩ホールではこの他に、日本化学会の玉尾皓平会長による「Functional Elemento-Organic Chemistry Further Enhanced by a Series of New Bulky “Rind” Groups」、山形大学の城戸淳二教授による「White OLEDs for General Lighting」という特別講演があった。

3 日目は会場をメディア棟に移し、チュラーロンコーン大学の Supawan Tantayanon 教授による「Small Scale Chemistry in Asia: Challenges and Opportunities」と、神奈川大学の上村大輔教授による「Discovery of Drug-Leads from Marine Organisms」による特別講演が行われた。

招待・依頼講演は各セッションからの推薦による現在脚光を浴びているテーマを 114 件、一般口頭発表(環境・化学教育)が 15 件、ポスター発表 715 件の発表が行われた。講演総数は 850 件となった。

1.3 懇親会

懇親会は、2 日目の 18 時 30 分から川内杜のダイニングで開催された。村松淳司教授(東北大多元研)の司会進行により、初めに里見進東北大学総長の挨拶があった。引き続き、李遠哲台湾中央研究院名誉院長、Ada E. Yonath ワイツマン科学教育所教授、Supawan Tantayanon アジア化学連合会会長の挨拶の後、玉尾皓平日本化学会会長の乾杯により宴が始まった。221 名(招待者 127 名を含む)の参加者数があり、和やかな雰囲気の中で懇親を深めることができた。会の中盤では加茂綱村太鼓による太鼓の演奏があった。また、会の終わりに、佐藤慎吾次期大会実行委員長ならびに、本国際会議の発起人である寺前紀夫先生の挨拶があり、盛会の内に開きとなった。

1.4 授賞式・閉会式

3 日目午後には、優秀ポスター賞の授賞式と閉会式が行われた。飛田博実教授(東北大院理)の司会で、ポスター発表 715 件の内、厳選なる審査の結果、優秀ポスター賞 98 件がスクリーン上で発表された。また賞状は後日発送される旨、報告があった。その後、佐藤慎吾次期大会実行委員長及び末永智一次期支部長の挨拶があり、正田晋一郎実行委員長が一本締めを行い盛会のうちにお開きとなった。

1.5 おわりに

会場となった東北大学の関係各位に紙面を借りてお礼を申し上げたい。経済的支援について、セッションオーガナイザーおよび村松淳司委員の尽力により、多くの会員外企業・団体から支援を得ることができた。また、86 名の学生アルバイト諸君は、大会前日の準備から最終日の後片付けまで、終始熱心にその責務を果たして頂いた。この大会を支えて頂いた関係各位に深く感謝を申し上げたい。

2:大会概要

平成 25 度化学系学協会東北大会の講演発表件数

	特別講演	招待・依頼講演	口頭発表
特別講演	6	1	
無機・錯体化学		19	
分析化学		8	
物理化学		18	
有機化学		13	
高分子・繊維化学		11	
化学工学		7	
材料化学		4	
電気化学		7	
環境化学		3	6
生体分子		9	
若手シンポジウム		5	
ナノマテリアル		7	
化学教育		2	9
小計	6	114	15

合計 135 件

ポスター発表

	1 日目	2 日目	3 日目	計
A: 無機・分析・環境化学	67	48	46	161
B: 物理化学	36	23	21	80
C: 有機化学	81	50	65	196
D: 工業化学・化学工学		41	30	71
E: 高分子・繊維化学	15	25	24	64
F: 材料化学	43	33	37	113
G: 電気化学		14	15	29
H: 化学教育		1		1
小計	242	235	238	715

合計 715 件

講演数 計 850 件

大会参加者数

	事前	当日	小計
一般	175	133	308
教育	8	9	17
院生	433	193	626
学部生・高専生・高校生	127	139	266
招待講演者	111		111
招待者	10		10
企業ブース		24	24

合計 1362 名

地域別参加者集計結果(東北6県)

県	一般 事前	一般 当日	学生 事前	学生 当日	招待講演 者 招待者	企業ブース	所属合計
青森県/ 49 名							
八戸工業高等専門学校	3	2	1	2			8
八戸工業大学	2	1	1	4	0		8
弘前大学	4	3	17	7	2		33
秋田県/ 39 名							
秋田県立大学	0				1		1
秋田工業高等専門学校	4		4				8
秋田大学	11	3	13	2	1		30
岩手県/ 60 名							
一関工業高等専門学校	2	2	2	1			7
岩手医科大学	3						3
岩手大学	8	6	21	15			50
宮城県/ 767 名							
宮城教育大学	2			1			3
産業技術総合研究所	1	2					3
秀光中等教育学校		1	4				5
東北生活文化大学	2						2
東北大学	95	63	323	196	26		703
東北薬科大学	3						3
宮城第一高等学校	1		4	1			6
仙台第二高等学校					1		1
仙台高等専門学校		2	3	4			9
多賀城高校	2		6				8
名取支援学校	1						1
石巻専修大学		2		2			4
石巻好文館高校		1					1
桜ヶ丘中学校		1					1
宮城県教育庁		1					1

県	一般 事前	一般 当日	学生 事前	学生 当日	招待講演者 招待者	企業ブース	所属合計
仙台市科学館		1					1
仙台南高等学校		1		4			5
(株)リタケカンパニーリミテド		1					1
東北学院高等学校				1			1
放送大学				1			1
アルプス電気						2	2
ナカライテスク						3	3
日立ハイテクノロジーズ						2	2
山形県/ 162 名							
山形大学	13	17	81	36	11		158
鶴岡工業高等専門学校		1		3			4
福島県/ 82 名							
福島県立医科大学	1						1
福島工業高等専門学校	1	2					3
福島大学	3	1	10	1	1		16
日本大学	5	5	20	19	3		52
福島県教育センター	1						1
(株)クレハ						2	2
福島高等学校		1		6			7
不明/ 2 名				2			2
	168	120	510	308	46	9	1161

東北地区参加者計:1,161名

地域別参加者集計結果(東北以外)

県	一般 事前	一般 当日	学生 事前	学生 当日	招待講演者 招待者	企業ブース	所属合計
北海道/ 16 名							
北海道大学	1	3	7		5		16
茨城/ 13 名							
筑波大学		1	5	1	2		9
産業技術総合研究所	1						1
日本原子力研究開発機構	1	1					2
高エネルギー加速器研究機構					1		1
埼玉/ 8 名							
楠本化成(株)		1					1
埼玉大学		1		1			2
独立行政法人理化学研究所					5		5
千葉/ 9 名							
日本大学		2		5			7
住友大阪セメント株式会社	1						1
ジャパンハイテック						1	1

県	一般 事前	一般 当日	学生 事前	学生 当日	招待講演者 招待者	企業ブース	所属合計
東京/ 58 名							
東京工業大学	1	1		4			6
東京大学	1	1	2	1	1		6
東京理科大学	1	2	19	7	2		31
富士シリシア化学(株)		1					1
国際基督教大学		1					1
芝浦工業大学	1						1
ベーリンガーインゲルハイム		1					1
日本化学会					1		1
ウェイブファンクション.INC						1	1
化学情報協会						1	1
コーンズテクノロジー						2	2
シュレーディングー						2	2
デジタルデータマネジメント						1	1
日本ベル						1	1
バイオタージジャパン						2	2
神奈川/ 7 名							
神奈川大学					1		1
関東学院大学		1		1			2
昭光サイエンティフィック						1	1
東芝ナノアナリシス						1	1
フリッチュジャパン						2	2
石川/ 4 名							
金沢大学			4				4
長野/ 3 名							
信州大学		1		1	1		3
静岡/ 1 名							
富士フィルム株式会社	1						1
愛知/ 4 名							
(株)KEC		1					1
分子科学研究所					1		1
名古屋大学					2		2
京都/ 6 名							
京都大学	1				4		5
財団法人・生産開発科学研究所					1		1
大阪/ 3 名							
大阪ガスケミカル株式会社					1		1
大阪大学			1		1		2
兵庫/ 2 名							
神戸女学院大学	1						1
住友ゴム工業(株)		1					1
奈良/ 2 名							
奈良工業高等専門学校	1			1			2
岡山/ 1 名							
旭化成ケミカルズ(株)		1					1

県	一般 事前	一般 当日	学生 事前	学生 当日	招待講演者 招待者	企業ブース	所属合計
広島/ 3 名							
広島大学			2		1		3
山口/ 7 名							
山口大学	2		4	1			7
徳島/ 2 名							
徳島大学					2		2
福岡/ 11 名							
九州大学			2		2		4
九州工業大学				1			1
福岡大学	1	1	4				6
	15	22	50	24	34	15	160

東北県外参加者数:160名

地域別参加者集計結果(海外参加者)

アメリカ/6名	ドイツ/6名
University of California, Irvine	Deutsches Elektronensynchrotron DESY, Hamburg; University of Göttingen; Max Planck Institute for Biophysical Chemistry
University of Pennsylvania	Friedrich-Alexander-University Erlangen-Nuremberg
Columbia University	Ruhr-Universität Bochum
Baylor University	Max Planck Institute for Medical Research
National Aeronautics and Space Administration	Max-Born Institute
Lawrence Berkeley National Laboratory	Shanxi University and Freie Universität Berlin
スコットランド/1名	スウェーデン/1名
University of Glasgow	Lund University
フランス/2名	タイ/2名
Institut Européen de Chimie et Biologie	Chulalongkorn University
French Atomic Energy Commission	台湾/7名
インド/1名	Academia Sinica
Indian Association for the Cultivation of Science	National Tsing Hua University
韓国/6名	National Cheng Kung University
Ewha Womans University	National Chiao-Tung University
Yonsei Univ.	National Taiwan University
Korea Advanced Institute of Science and Technology	中国/6名
POSTECH	Chinese Academy of Sciences
Dongguk University-Seoul	Fudan University
Hanbat National University	Tsinghua University
シンガポール/2名	Nanjing University
Singapore University of Technology and Design	The Chinese University of Hong Kong
Nanyang Technological University	The Hong Kong Polytechnic University
イスラエル/1名	
Structural Biology Department, Weizmann Institute	

of Science	
------------	--

海外参加者数:41名

国内在住を含む外国人参加者数:129名

大会タイムスケジュール

Time Table									
Sep. 28 (Saturday)	Room B	Room C	Room D	Room E	Room F	Room G	Room H	Room I	Room J
28 am		Nano-Material Colloquium 10:00~11:30	Analytical Science 9:00~12:00	Inorganic and Coordination Chemistry 9:00~12:00	Physical Chemistry and Biochemistry 9:00~12:00	Materials Chemistry 9:00~12:00	Young Chemist Symposium 9:15~12:00	Organic Chemistry 9:00~12:00	
	Lunch								
		Chemical Education 14:00~15:00	Nano-Material Colloquium 13:30~15:30	Analytical Science 13:00~15:30	Inorganic and Coordination Chemistry 13:00~15:30	Physical Chemistry and Biochemistry 13:00~15:30	Biofunctional Chemistry 13:00~15:35	Young Chemist Symposium 13:00~13:45	Organic Chemistry 13:00~15:25
Poster Session I (Building C 1F & 2F) 15:30~17:00 (14:30~17:00)									
Sep. 29 (Sunday)	Room B	Room C	Room D	Room E	Room F	Room G	Room H	Room I	Room J
29 am	Chemical Education 9:00~11:00	Electrochemistry 9:00~10:55	Supercritical Fluid Technology 9:00~11:00	Inorganic and Coordination Chemistry 9:00~10:50	Physical Chemistry and Biochemistry 8:50~11:00	Biofunctional Chemistry 9:00~11:00	Environmental Chemistry 9:00~11:00	Organic Chemistry 9:00~10:50	Polymer Science and Technology 9:00~10:50
	Poster Session II (Building C 1F & 2F) 11:00~12:30 (10:00~12:30)								
	Lunch								
29 pm	Special Lecture I (13:00~18:10) Room Q (Kawauchi Hagi Hall)								
29 evening	Banquet (18:30~20:30)								
Sep. 30 (Monday)	Room B	Room C	Room D	Room E	Room F	Room G	Room H	Room I	Room J
30 am		Electrochemistry 9:00~10:30	Supercritical Fluid Technology 9:00~10:30	Inorganic and Coordination Chemistry 9:00~10:30	Physical Chemistry and Biochemistry 9:00~10:30	Biofunctional Chemistry 9:10~10:30	Environmental Chemistry 9:00~10:30	Organic Chemistry 9:00~10:30	Polymer Science and Technology 9:00~10:30
	Poster Session III (Building C 1F & 2F) 10:30~12:00 (09:30~12:00)								
	Lunch								
30 pm	Special Lecture II (13:00~15:00) and Closing Ceremony Room A								

Special Lecture (1)

September 29 (Sunday), 13:00 - 18:10

Lecture Room Q (Kawauchi Hagi Hall)

13:00 - 13:05

Opening Remark from the Chair of the International Symposium for 70th Anniversary of the Tohoku Branch of the Chemical Society of Japan

Shin-ichiro Shoda (Tohoku Univ.)

13:05 - 13:35

“The History of the Tohoku Branch of the Chemical Society of Japan”

Hiroshi Ogino (The Open University of Japan, Emeritus Prof. of Tohoku Univ.)

13:35 - 14:35 Chair: Fumi Nagatsugi (Tohoku Univ.)

“From Basic Science to Advanced Medicine”

Ada E. Yonath (Weizmann Institute of Science, Israel)

14:45 - 15:45 Chair: Masahiko Yamaguchi (Tohoku Univ.)

“Functional Elemento–Organic Chemistry Further Enhanced by a Series of New Bulky “Rind” Groups”

Kohei Tamao (President of the Chemical Society of Japan, RIKEN)

15:55 - 16:55 Chair: Hideo Sawada (Hirosaki Univ.)

“TBA”

Junji Kido (Yamagata Univ.)

17:05 - 18:05 Chair: Asuka Fujii (Tohoku Univ.)

“My Experiences as a Chemist in the Changing World”

Yuan T. Lee (Academia Sinica, Taiwan)

18:05 - 18:10

Brief Remark from the President of the Tohoku Branch of the Chemical Society of Japan

Masahiro Yamashita (Tohoku Univ.)

Special Lecture (2)

September 30 (Monday), 13:00 - 15:00

Lecture Room A (Center for Information Technology in Education, M206)

13:00 - 14:00 Chair: Kazuko Ogino (Tohoku Univ.)

“Small Scale Chemistry in Asia: Challenges and Opportunities”

Supawan Tantayanon (Chulalongkorn Univ. , Thailand)

14:00 - 15:00 Chair: Minoru Ueda (Tohoku Univ.)

“Discovery of Drug-Leads from Marine Organisms”

Daisuke Uemura (Kanagawa Univ.)

15:00 - Closing ceremony

3. 懇親会

1. 懇親会次第

【懇親会基本情報】

会期:9月29日(日)18:30~20:30

会場:川内の杜ダイニング

懇親会担当:村松淳司(東北大多元研)

【平成25年度 次第】

18:30

- 1.村松淳司 司会挨拶、総長の紹介
 - 2.里見 進 東北大学総長のご挨拶(東北大学総長)
 - 3.李 遠哲 特別講演者のご挨拶(台湾中央研究院名誉院長)
 - 4.Ada Yonath 特別講演者のご挨拶(ワイツマン科学研究所教授)
 - 5.Supawan Tantayanon 特別講演者のご挨拶(アジア化学連合会会長)
 - 6.玉尾皓平 日本化学会会長のご挨拶、乾杯のご発声(理化学研究所研究顧問)
- === 歓談 ===

19:30

- 太鼓の演奏(15分) 加茂綱村太鼓 (大太鼓:10万円、搬出入6名手伝い必要)
- === 歓談 ===

20:00

- 7.佐藤慎吾 次期大会実行委員長のご挨拶(山形大学大学院 教授)
- 8.寺前紀夫 中締めのご挨拶・三本締めのご発声

懇親会参加者数

- | | |
|-----------|------|
| ・事前申込み | 89名 |
| ・当日申込み | 33名 |
| ・講演者 | 135名 |
| ・企業 | 24名 |
| ・懇親会のみ招待者 | 5名 |

計 286 名

4. 授賞式

受賞式 9月30日(月)

今大会では、ポスター発表総数715件の内、厳選なる審査の結果、下記98件を優秀ポスター賞に選定しました。

1P001	Giancarlo S . Lorena	Structure and Electronic Properties of Solution Processable Organic-Inorganic Copper based Perovskites
1P018	Kana Sawaguchi	Photoinduced Hydrogen Evolution by Combined Systems of 3d Metal Complex Catalysts and Photosensitizing Quantum Dots
1P023	Kiyonori Takahashi	Structural Changes and Physical Properties of Copper(II) Complex by Pyridine Chemsorption
1P040	Kenshi Takahashi	Removal of lead from cathode ray tube glass using dehydrochlorination of PVC
1P044	Masaki Nishio	Doping of [Rh ₂] unit into a charge-transferred 1-D chain compound composed of [Ru ₂] and TCNQ derivative
1P050	Shohei Kumagai	Comparison of the Structures and the Properties of Quasi-one-dimensional Bromide-bridged Pd Complexes with the Similar Counterions
1P059	Masahiro Hatazawa	Development of reversible hydrogenation-dehydrogenation of dihydroimidazolium
1P062	Ippei Nakamura	Electron delocalization in mixed-valence molecular metal oxides
2P005	Kentaro Numata	Flow injection/anodic stripping voltammetry for the detection of ultra-trace mercury(II) by using track-etched microporous membrane electrodes
2P010	Hitoshi Iwasaki	Purification of a Protein - Modified Gold Nanoparticle by Gel Filtration Chromatography
2P019	Shinya Sato	Surface modification of track-etched microporous membrane electrodes by electrochemical reduction of diazonium cations
2P022	Ryo Baba	Bioconjugation of Tb(III)-Thiacalixarene Complex with Proteins Analyzed with Capillary Electrophoresis
2P029	Makoto Tominaga	Highly transparent clay films consisting of a stevensite and fluorescent organic dyes
2P034	Hiroki Sato	Valence State Controlled Nonanuclear [3 x 3] Grid-Shaped Complexes
2P040	Hiroki Moritomo	Two-photon absorption characteristics and cell imaging of novel styryl derivatives
2P049	Hidenori Ishibashi	Structures and Adsorption Properties of Two-Dimensional Copper(II) Complexes with Methanesulfonate Anions
3P005	Masaki Miyahara	Structure and Dielectric Properties of Protonated DABCO/[Ni(dmit) ₂] ⁻ Crystals
3P008	Akio Mishima	Crystal-Size-Dependent Guest Responsivity of Fe(II)M(II) Porous Coordination Polymers
3P019	Koya Inomata	Synthesis and Structure of an NHC-Stabilized Chlorogermlyne Complex and Chloride Abstraction from it
3P024	Kimiaki Nishimura	Synthesis and Reactivity of Hydrido(silylene)ruthenium Complexes : Formation of Novel η ³ -2-Aza-1-silaallyl Complexes in their Reactions with Arylnitriles
3P032	Toshiharu Arai	Selection of highly-differentiated cardiomyocyte from mouse embryonic stem cells based on non-invasive electrochemical measuring
1P069	Takahiko Hasegawa	Control of the microscopic mass transportation with chemical wave
1P072	Takaki Tokiwa	Interatomic Coulombic decay induced by Xe 4d ionization of Xe dimers
1P073	Kazuyuki Kikuchi	Structure modeling of grassy and molten ZnCl ₂
1P077	Mai Yarimizu	IR double-difference spectra of aqueous LiClO ₄ solutions

2P054	Shu Ohmura	Multiconfigurational simulation for strong field ionization: Analysis of high harmonic emissions from molecular orbitals
2P059	Hikaru Sotome	Ultrafast electron and lattice dynamics in gold island films probed by transient absorption spectroscopy and laser-plasma based X-ray diffraction
2P064	Nobuaki Kikkawa	The Effect of Ion Pair Formation on Ion Passage through the Liquid-Liquid Interface
3P048	Daiki Suzuoka	Why is benzene soluble in water? - Role of the fluctuation of π electrons in aromatic solutes immersed in water. -
3P052	Takuto Shimamori	Excess electron binding motif in negatively charged clusters of secondary amides studied by photoelectron spectroscopy
3P056	Masataka Saito	Microsecond dynamics of ubiquitin folding detected by single molecule fluorescence spectroscopy
1P105	Daiki Motomatsu	1,3-Disilabicyclo[1.1.0]butane Dimer Showing Remarkably Conjugation
1P111	Masayuki Kurotaki	Synthesis and Gelation Properties of Cystine Derivatives
1P121	Norihiro Sato	Development of the molecular probes to achieve the selective chemical modification in an abasic site
1P128	Toshika Ohashi	Synthesis and properties of novel conjugated phenol derivatives bridged by heterocycles
1P135	Toshinari Honda	A Chiral NMR Shift Reagent Eu-pdta: Application for Determining Absolute Configurations of β -Amino Acids and β -Hydroxy Acids
1P137	Kengo Hirasawa	Synthesis and Properties of Palladium(II) Complexes of 1,3-Bis(diphenylphosphino)calix[4]arene
1P142	Yuki Nakamura	A novel sensing system for anion with Ag nanoparticles
1P154	Shoma Hirokawa	Synthesis and Properties of Novel Porphyrin Derivatives using Dibromodipyrromethene
1P159	Takuya Yoshida	Synthesis and Unique Optical Properties of Phosphorus(V) Tetraazaporphyrins
1P184	Kei Yamada	<i>p</i> -Benzyne Monochlorination: Synthetic Study of Cyanosporasides A and B
2P076	Kei Yoshida	Aerobic oxidation of amines with Grubbs catalysts
2P082	Masaaki Kotake	Synthetic Studies of Maoecrystal V
2P087	Kazuaki Hirota	Synthesis and biological evaluation of structural analogues of gambierol
2P095	Takashi Muto	Synthetic studies on didemnaketal B
2P099	Ken-ichi Sasahara	Solid-Phase Synthesis of Spiruchostatin A and its Derivatives Using a Silyl Linker
2P107	Takashi Yamasaki	Bottom-up Synthesis of Finite-Zigzag Single-Wall Carbon Nanotubes
2P113	Yuta Kudo	The structure of the novel tetrodotoxin analog, 6-deoxytetrodotoxin, and structure activity relationship study on C-6 and C-11 hydroxyl groups of tetrodotoxin
2P120	Saki Nakamura	Synthetic study on haouamine derivatives using 'anti-Wacker'-type cyclization
3P069	GEFEI LI	A novel method for α -selective glycosylation under reductive conditions using oligosaccharide donors
3P074	TAKUMI KIDACHI	Biotransformation utilized <i>Botrytis cinerea</i> - Reduction reactions of ketonic compounds -
3P082	YU SAITO	ESR of Water Soluble Peroxyl Radical Generated from AIBN and Cyclodextrin
3P083	YASUTAKA YOSHIDA	Enzyme-catalyzed resolution of optically active cyclohexylidene derivatives

3P091	MARI KIKUCHI	Solid phase total synthesis of callipeltin M, linear octapeptide isolated from <i>Latrunculia</i> sp.
3P095	KENTO OMURA	Sulfenylation of electron-rich heteroaromatic compounds promoted by copper(II) chloride
3P106	TSUKASA TAKANASHI	Structure and performance of Rh-In/C for the amination of various alcohols with aqueous ammonia
3P112	KYOHEI KANOMATA	Development of Chiral Brønsted Acid Catalyzed Petasis-Ferrier-Type Rearrangement and Its Theoretical Study
3P118	KEITA NAKAGAWA	Substituent and Solvent Effects on the Reactions of Acetylide-Silylene Tungsten Complexes with Acetone
3P119	RYO TASHITA	Coronatine derivatives for bioorganic studies on stomatal opening
3P132	NORIKI SUZUKI	Pd-catalyzed Intramolecular Direct Arylation: Acceleration of the Reaction by Electron-poor BFPy Phosphine Ligand
2P131	Yuya Maeta	Vapor-liquid equilibrium measurements for modeling of supercritical fluid rectification of natural components
2P138	Yuki Nakamura	Effects of the Solid co-Solvent on the Melting Point Depression of Organic Substances
2P140	Takuya Morioka	Oxidative Stability of Zero-Valent Copper Nanoparticles Synthesized with a Continuous Supercritical Hydrothermal Method
2P145	Masaki Togo	Application of PC-SAFT equation of state to modeling of high temperature and pressure phase equilibria with water and hydrocarbon association
2P151	Hiroaki Matsukawa	Phase Behavior of PS/Tetramethyl orthosilicate/CO ₂ Ternary System
2P155	Tomohiro Kato	Foaming behavior of polymers with using mixtures of CO ₂ and N ₂ as foaming agent
2P160	Yasuki Shindo	Preparation and properties of o/w emulsion of high viscosity phosphonium ionic liquids
3P148	Yuya Hiraga	Application of PC-SAFT Model to Infinite Dilution Partition Coefficient of Aromatic Compounds in Ionic Liquid and Supercritical CO ₂
3P151	Ikuo Ushiki	Development of an accurate prediction method for VOC adsorption equilibria under supercritical carbon dioxide conditions
3P158	Fukuma Sato	GaN powder synthesis using Ga metal as a nutrient in supercritical ammonia
3P161	Kaori Endo	Evaluation of CO ₂ /water/rock interactions for CO ₂ geological sequestration
1P186	HUIE ZHU	Solvent-dependent monolayer properties of poly(vinylidene fluoride) at the air-water interface
1P194	YUKIHIRO ISHIKAWA	Corrosion protection property of AOT-doped polyaniline
1P197	RYO KOIZUMI	Synthesis of amphiphilic silsesquioxane nanoparticles having hydroxyl and fluoroalkyl groups and development of functional hybrid films
2P167	YUDAI KUDO	Adsorption of p-Alkylphenol by the use of Membranes including Host Molecules
2P170	YU SAITO	Synthesis and adhesion properties of triazine-containing aromatic polyimides
2P176	TADASHI TSUKAMOTO	Fluorescent behavior of polyketones and poly(arylene vinylene ketone)s
3P164	TATSUYA SHIMA	Liquid Crystalline Property of Cyclic Multi-Block Amphiphiles
3P172	RYOHEI UEMATSU	Synthesis and Interaction Behavior of Peptide Nucleic Acid (PRNA) -PNA-DNA Chimeras and Application to Cancer Cell Specific Expression Control of Genetic Information
1P205	YUJI OZAWA	Cracking characteristics of cold sprayed stainless steel coatings during slow strain rate testing in high temperature water
1P208	YO NOZAKA	Development of Pressureless Sintering Method for Carbon Nanotube/Alumina Composites and Evaluation of Their Microstructures and Mechanical Properties

1P211	AKIHITO WATANABE	Fabrication of thermoelectric circuits by welding micro metallic wires with Joule heat and their performance
1P216	MIYUKI AOYAMA	Testing Electromigration Resistance of Solders in Stripe
1P221	YUSUKE WATANABE	Strength of particle interface in Cold-Sprayed Copper Deposit
1P227	MASATO OHNISHI	Effect of Three-dimensional Strain Field on Electronic Conductivity of Carbon Nanotubes
1P233	YUTA MANO	Surface hardening and embrittlement of austenitic stainless steel by hydrogen invasion
2P191	JUNKI SATO	Synthesis of an iron-picolinato compound as a precursor for iron oxides
2P200	TAKUMA KIMURA	Synthesis and characterization of NaB ₅ C ceramics
3P194	KAZUYA SAITO	Acid-base properties of organic-inorganic composite synthesized from HLaNb ₂ O ₇ and quaternary ammonium salt
3P197	TAIKI TSUZUKI-ISHI	Interaction of Fluoroalkyl End-capped Oligomer/Polyaniline Nanocomposites with Silica Fine Particles Possessing Amino Groups
3P205	AYUMI HIROTA	One-pot synthesis of catalytic gold nanoparticle-mesoporous silica composite particles
3P211	DAICHI KITAZUME	Fabrication and Characterization of TiN coating on various substrates by microwave irradiation
3P213	YUYA NAKATANI	Synthesis and characterization of new Li ion conductive Li-Sn-O compounds
2P225	SHINICHIRO TAKANO	Novel electrochemical methods for highly sensitive detection of endotoxin.
2P227	SHUKUYO YAMADA	Three dimensional spatial assembly of stem cells by using dielectrophoresis in GelMA hydrogel
2P233	KENTA ONO	Redox Properties of Prussian Blue Nanocrystalline Monolayer on an ITO Electrode
3P224	HISASHI WATANABE	Effects of Template Species in Tunnel Structure on Electrode Characteristics of α -MnO ₂ Nano-particle by Solution Method
3P233	YUKI YOKOSAWA	Surface properties of electrochemically nitrated stainless steel

5. 閉会式

閉会式 9月30日(月)

司会:飛田博実先生

1. ポスター賞の発表
2. 次期実行委員長(佐藤慎吾教授・山形大学大学院理工学研究科)の挨拶
3. 次期支部長(末永智一教授・東北大学大学院工学研究科)の挨拶
4. 大会実行委員長(正田晋一郎教授・東北大学大学院工学研究科)の挨拶

6. おわりに

平成 25 年度化学系学協会支部長

日本化学会東北支部	山下正廣(東北大院理)
高分子学会東北支部	及川英俊(東北大多元研)
化学工学会東北支部	今野幹男(東北大院工)
有機合成化学協会東北支部	寺田眞浩(東北大院理)
日本分析化学会東北支部	我妻和明(東北大院金研)
電気化学会東北支部	仁科辰夫(山形大院理工)
日本材料学会東北支部	水野 衛(秋田県立大)
繊維学会東北北海道支部	正田 晋一郎(東北大院工)
無機マテリアル学会北部支部	鶴沼英郎(山形大院理工)

平成 25 年度化学系学協会東北大会実行委員会名簿

実行委員長	正田晋一郎(東北大院工)		
庶務幹事	大槻幸義(東北大院理)		
会計	岸本直樹(東北大院理)		
委員	諸橋直弥(東北大院工)	委	員
委員	村松淳司(東北大多元研)	委	員
委員	清水宗治(東北大院理)	委	員
委員	Brian K.Breedlove(東北大院理)	委	員
委員	橋本久子(東北大院理)	委	員
委員	山下修治(東北大院理)	委	員
委員	中村 達(東北大院理)	委	員
委員	高石慎也(東北大院理)	委	員
委員	井口弘章(東北大院理)	委	員
委員	芥川智行(東北大多元研)	委	員
委員	崎山博史(山形大理)	委	員
委員	金井塚勝彦(山形大理)	委	員
委員	栗原正人(山形大理)	委	員
委員	我妻和明(東北大金研)	委	員
委員	小川信明(秋田大院工学資源)	委	員
委員	上田 潔(東北大多元研)	委	員
委員	森田明弘(東北大院理)	委	員
委員	加藤隆二(日大工)	委	員
委員	河野裕彦(東北大院理)	委	員
委員	土井隆行(東北大院薬)		
委員	吉村祐一(東北薬科大)		
委員	中川 勝 (東北大多元研)		
委員	大石好行(岩手大院工)		
委員	佐野正人(山形大院理工)		
委員	金原 数 (東北大多元研)		
委員	岡田修司(山形大院理工)		
委員	猪股 宏 (東北大院工)		
委員	鈴木 明 (東北大院工)		
委員	祖山 均 (東北大院工)		
			横堀壽光(東北大院工)
			水野 衛 (東北大院工)
			末永智一(東北大 WPI-AIMR)
			宇井幸一(岩手大工)
			吉岡敏明(東北大院環境)
			多賀谷英幸(山形大院理工)
			和田健彦(東北大多元研)
			田中 賢(山形大院理工)
			魚住信之(東北大院工)
			不破春彦(東北大院生命)
			今野博行(山形大院理工)
			垣花真人(東北大多元研)
			鶴沼英郎(山形大院理工)
			豊田耕三(東北大院理)
			渡邊 賢(東北大院工)
			橋爪清成(福島高校)
			猿渡英之(宮教大)
			飛田博実(東北大院理)
			佐藤次雄(東北大多元研)

日本化学会東北支部幹事長 藤井朱鳥(東北大院理)

日本化学会東北支部事務局 遠藤小春 千葉依巳

本報告書の内容の一部もしくは全てを無断で複製・転載することはできませんので、ご注意ください。